

登録コード	E8461400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	植原 俊晴
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	問題解決能力を養うことで、主体的に社会へ参画することができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	問題を見いだし、見通しをもって解決することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	理科教育学に関わる分野から研究テーマを決め、それに関する先行研究を整理し、研究目的や方法を具体的にします。その上で、調査・実験などを行い、研究結果を論文にまとめます。						
(5)授業計画	以下の内容を、4月から2月にかけて行います。 (1)研究テーマの設定 (2)先行研究の整理 (3)研究計画の策定 (4)研究方法の具体化 (5)調査・実験などの実施 (6)研究結果の分析・考察 (7)中間発表 (8)分析及び考察の修正 (9)卒業論文の作成 (10)卒業研究の発表 ※卒業研究発表以前に約15分間「授業アンケート」を実施します。						
(6)成績評価の方法	・卒業論文の内容で評価します。特に、研究で得られた結果について論理的分析・評価し、学校教育実践に対する示唆を指摘できているかどうかという観点で審査します。 ・得点率による評価基準は、次の通りです。 「秀」90%以上, 「優」89-80%, 「良」79-70%, 「可」69-60%, 「不可」60%未満						
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に関連した既存の理論による説明が適切に把握できており, (v) その上で自分の考察を提示できており, かつ, 学校教育実践に対する示唆を明確に指摘できていれば「卓越している」です。(i) から(v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」, 4項目までできていれば「やや上にある」, 3項目までできていれば「水準にある」です。						
(8)事前事後学習の内容	・毎週、その前の週の授業内容の全員の理解度を講義の冒頭で確認するとともに、当該週で取り扱う内容に関して1週間で調べてきた関連情報を全員に発表してもらうので予習をして臨むようにしてください。この授業は225時間の学修を必要とする内容です。したがって、150時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	・すべての授業に出席してください。ゼミ形式で進めます。 ・研究成果を日本理科教育学会北陸支部大会、または日本教育実践学会研究大会などで発表することが望ましいです。 ・授業以外の時間を有効に活用し、自らの問題意識に基づいて見通しを持って積極的に文献収集し、結果を残すように努めてください。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	【質問・相談の対応】 在室のときはいつでも。研究室は西校舎3階315室です。 【連絡先】 メール：t_uehara@shinshu-u.ac.jp 電 話：026-238-4118						
【教科書】	・特に指定しません。						
【参考文献】	・随時、紹介します。						